

Dr.Kの世相ルポ



業界の危機感はいいではないか。社会の見る目は変わっていない。

新年を迎える中で考えてみた。かつて一銭で遊べる遊技は、不要不急の遊びとして禁止された戦時下を経て、戦後、焼け跡の中から再び産声を挙げた。様々な波に翻弄されつつも、大衆娯楽の王としての座を維持してきたが、いつの頃からか、改めて「身近で手軽な大衆娯楽」という冠を大きく掲げなければならぬ状況になった。

とにもかくにも利益優先で走り、パチンコが本来持っていた(実は一番大切な)大衆娯楽としての遊技性を、こともあろうに業界全体で薄めてきたからに他ならない。「チューリップ機」や「オール10」に見るように、玉の流れ、玉の入り方や出方そのもので遊ぶものから、勝ち負けの落差の大きさ、液晶演出、派手な役物、複雑なゲーム性、キャラクター等で顧客の目を惹き付ける路線へと全体が舵を切った。同質競争での消耗戦を展開。そのしわ寄せのすべてをお客に向けたことで、ホールは減少の一途を辿っている。

それでもしかし、「身近で手軽な大衆娯楽の確立」という言

葉に輝きを持たせるべく業界は様々な取組みを行なってきた。「1円パチンコ」に代表される低投資遊技の普及、「遊べる遊技機」遊パチ」を掲げてのアップール、コーナー作り、それまでタブー視されてきた依存問題への取組み等々。業界が考えているほど効果は挙がっているのだろうか、極めて疑問である。「遊べる」にしても、そのコーナー自体が利益回収の場になっ

ていたり、CR機の領域から出ない遊技機のため「遊べる」遊技機で遊べない。かつてのようにオールもの、羽根物、平台といったゲーム性に幅のある多様な遊技機が存在が大事であるという点の追求はどこに?もはや企業個々に任せるのではなく、多様な遊技機の開発、導入促進、告知の徹底により環境を転換させ、そうした機械を使うための営業方法の抜本的見直し、稼動と粗利のバランスの検討を、業界全体で検討する方向を志向しなければ、永久に変わらないのではなからうか。そもそも1円パチンコだ10円パチンコだという前に、4円パチンコで「遊べる」遊技機がなぜ市場に出てこ

ないのか、この疑問に納得のいく回答がえられない業界はおかしい。

ないのか、この疑問に納得のいく回答がえられない業界はおかしい。

依存問題もわかりである。間違ってもらうては困るが、この問題についての業界における取組みは評価すべきである。全日遊連の中にこの問題への取組みを行なう研究会が作られた当時は、正直「敵」だらけの中でのスタートであったと記憶する。「のめり込む」お客を作るのがホールだと、公然と言いつつも多々存在したし、事務局内部にも依存になる、ならないかは個人の問題であり、それを業界が、といった冷ややかな視線を送る人間がいる状況だったと聞く。事の本質に正面から向き合えない人間が、一生懸命着飾り、取り繕っても何の意味もない。研究会のメンバーの粘り強い取組みは、そうした八方覆われた水を溶かし、現在のリカバリリーサポートネットワークへと結果させ、業界が持つ体質に風穴を開けたことの意義は大きいと言わねばならない。

ところが、深刻な客離れへの対応の中で、業界は若者層より人口が多い高齢者層(スリープ客も多い)の集客に力を注ぎ、こうしているわけだが、それに水を掛けられる報道がなされた。11月8日付けの朝日新聞社会面。<「定年・独居 退屈しのぎ玉

はじく」パチンコ依存症 年金つぎ込み家族借金>というタイトルで、公益財団法人「日本生産性本部」の調査結果(60歳以上のパチンコ遊技人口(推計値)が430万人、遊技人口全体の25%を占める)をベースに、借金で苦しむ事例や国民年金と厚生年金が全国一斉に支給される毎月「15日」は高齢者でホールの稼動が2/3割上がる状況を紹介しつつ、パチンコに関するネガティブな内容一色の記事となっている。「1円パチンコ」も、客を少しでも多く集め、広く薄く利益を挙げ、生き残りに向けたなりふり構わない集客戦略とし、加藤諱三早稲田大学名誉教授の言葉を借りて、「経済成長が続いていた現役時代、仕事や家庭のことを優先し、自己実現というものを考える余裕もなかった世代の心の問題が表面化したものと言える」「今後、大きな社会問題となるだろう」としている。

社会的目は変わっていない。業界の取組みなどほとんど知られていないのだ。「遊パチ」にしてもしかり。大金かけて新台のCMなど打っている時ではないのだ。大きな発想の転換を行なわなければ、見向きもされな

いどころか、カジノ合法化が現実のものとなった時、より厳しい環境が待ち受けるかも。

明けましておめでとうございます

ホールイベント・集客にぜひ 只今出張依頼賜っております。

<http://www.newworld77.jp>



本場博多餃子屋 天神流

✓ New World 株式会社ニューワールド

愛知県名古屋市中川区百船町20番11号 1F
TEL.052-700-7557 FAX.052-700-7216
<http://www.newworld77.jp>

